

泥沼に落ち込んだ大学粉争

生命を育てる母親として、この現実にも目をそむける事はできません。言うは易く、行うことはむずかしい、もはや大学にまかせてはおけません。安易な批判や同情の段階は過ぎました。今後、教育の改革をどうすればよいか、具体的に建設的な意見を国民各層から無党派、無派の人材を広く求め、教育改革の運動を推進したいと思ひます。

昭和四四年二月二四日

関西主婦連合会

- 正常化できない大学は一時閉鎖せよ。
- 大学を根本的に改組せよ。
- 命あつてのものだね。死に追い込む闘争に反対する。
- 教育改革は今がチャンス。
- 衆智を集めて再建しよう。
- 暴力に対して法律を適用せよ。
- 大学からイデオロギー闘争を駆逐せよ。
- 法治国家の一員としての心構えが第一。
- 学問より先ず人間形成を。
- 犯したあやまちをつぐなう国の掟を骨の髄まで教えよう。
- 家庭の中で母と子の対話を積み重ねよう。